

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009.10.14号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

2008年度
決算特別
委員会

株式会社立認可保育所 公的資金流用の疑い？ ～白井正子議員が指摘～

港北区の「ゆめみらい保育園」は、開園して3年半経過した定員90人の民間認可保育所です。保育士が定着せず、多数の職員が入れ替わり、子どもが行きたくないと言っているとの相談が日本共産党の白井正子議員に寄せられました。区役所には、今年6・7月に、この保育園の保護者だけでなく、保育士からの相談も寄せられています。

この保育園は株式会社エキスパートシステム(本社・横浜市)が運営。この会社は保育園だけでなく、人材派遣業もやっており、臨時保護者会の記録などによれば、保育士の多くは短期契約の派遣職員だったようです。同会社はこの保育園を他の株式会社に譲渡し、この園は10月1日に名前を変えて再出発しました。

2園で7600万円余の使途不明金

白井議員の調査により、この保育園と同社が運営している他の保育園(中区)の2園で、国や市から交付されている運営費や助成金に使途不明金があることが明らかになりました。

ゆめみらい保育園は、2008年度保育所基本運営費として8818.8万円、市の単独助成として3284.5万円、合計1億2103.3万円の公的助成を受けています。運営費と助成金の使い方は決められていますが、同保育園では2007年度だけで、認められていない支出が1165万円あり、その他繰越が認められていない貸付金約3146万円もあります。

中区の保育園でも、2007年度、認められない支出が約1220万円、貸付金が約2107万円。2園合わせると7600万円以上の多額になります。



質問する白井正子議員10月7日、横浜市庁舎・市会棟会議室

営利企業は資金運用を繰り返す宿命 不正を発生させない仕組み作りを

白井議員は、決算特別委員会・こども青少年局の審議で、この問題を取りあげ、金の流れと市の監査状況がどうなっているか質問しました。

市側は、同園の報告書では貸付先や貸付内容が不明瞭だったため改善報告書を求めたが不完全な報告しかなく、再度照合を行ったが「本部と保育所経理区分との間で頻繁に資金移動を行っており、その確認に時間がかかっている」ということで、いまだ提出がない」と答弁しました。

白井市議は、貸付先に「法人の社長個人名とは関連会社の名前も記載されていたと聞いている」として、資金がまた貸しされた疑いがあることを述べ、「これは調査がずさん」と市の調査の不備を指摘しました。

その上で、「営利企業は宿命として経営のリスクがあり、資金の運用を繰り返す。他の園でも今後同様なことが発生することが懸念されるが、本市ではそのリスク管理が出来ていない。保育所の運営で不正を発生させない仕組みを作るべきと考えるがどうか」とたどしました。

佐々木副市長は「今後も指導監査をきちんと行い、強化を図る」との答弁にとどまりました。